

# V-CUBE を利用した PC 教室間の中継手順

---

第 1.1 版

2023 年 10 月 13 日

KUDOS 学生センター

## 目 次

1. 本マニュアルについて	4
2. V-CUBE を利用するにあたっての事前準備	4
2.1. V-CUBE の予約申請	4
2.2. バージョンの確認と更新(共通)	4
3. PC 教室間の中継手順	5

制定・改訂履歴

版数	制改訂年月日	改訂内容	作成者	確認者	承認者
第 1.0 版	2018.0910	初版	教育系運管 G 西原		
第 1.1 版	2023.10.13	部署名変更 【総合情報システム部】⇒【KUDOS 学生センター】	教育系運管 G 徳田		

# 1. 本マニュアルについて

---

本マニュアルは、V-CUBE ミーティングを利用し、PC 教室から別の PC 教室に音声、資料映像を中継する手順を示したマニュアルです。

## 2. V-CUBE を利用するにあたっての事前準備

---

### 2.1. V-CUBE の予約申請

事前に K-SHARED にある V-CUBE 利用者マニュアルを参照の上、V-CUBE 会議室の予約を行ってください。

#### <V-CUBE 利用者マニュアル>

K-SHARED ログイン後、下記参照ください。

「MENU」>「ファイル管理」>「KUDOS 学生センター 公開用ファイル管理」

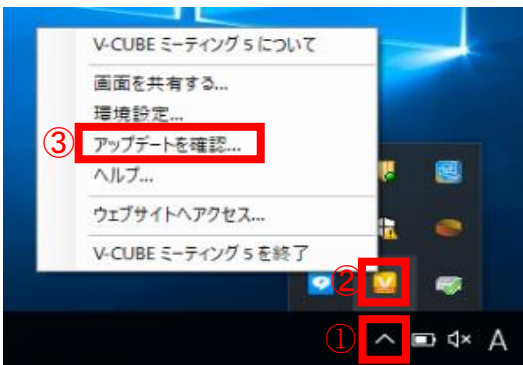
>「V-CUBE マニュアル(Web 会議システム)」>「V-CUBE\_利用者マニュアル[第 1.9.2 版].pdf」

※2018/9/6 時点

### 2.2. バージョンの確認と更新(共通)

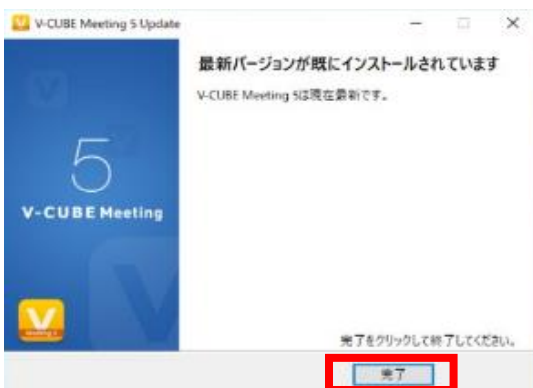
※最新バージョンでない場合、動作に不具合がでる可能性がある為、必ず本手順を実施してください。

2.2.1 デスクトップ右下の【画像①】を押下後、V-CUBE ミーティングのアイコン【画像②】を右クリックしてください。一覧から「アップデートを確認」【画像③】を押下します。



2.2.2 【最新バージョンが既にインストールされています】と表示されていれば問題ありません。

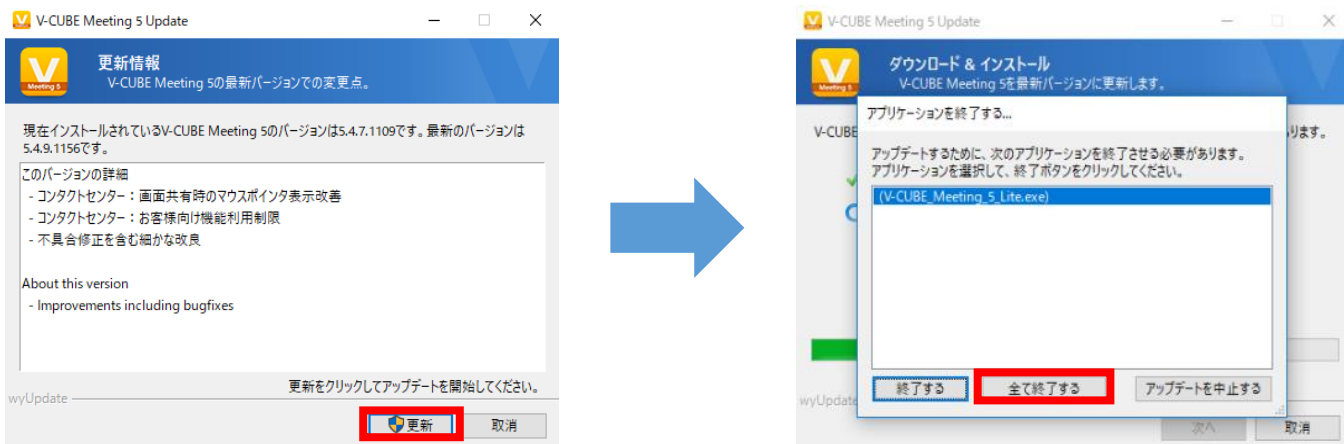
最新(下図)でない場合は 2.2.3 以降の手順へ



\*\*\*\*\*2.2.3~2.2.4 の手順は最新でない場合のみ実施します\*\*\*\*\*

### 2.2.3 「更新」を押下してください。

更新中、「アプリケーションを終了する」が表示された際は、「全て終了する」を押下してください。



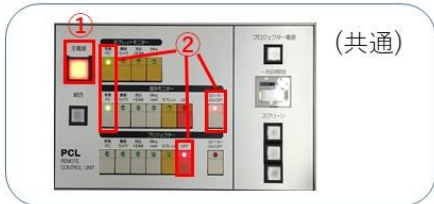
### 2.2.4 「更新が成功しました。」と表示されるので、「完了」を押下して終了です。



### 3. PC 教室間の中継手順

#### ■パターン①：V-CUBEを使用して中継をする方法(38号館)

例)38号館第5教室(発信元)と第7教室(受信側)で遠隔授業を行う場合



**送受信教室での共通操作：授業支援システム機能で教室スピーカーから音声を出力する設定**

送信元、受信側双方の教室で左図の様に卓上のスイッチを操作します。

- ①授業支援システムの主電源を1秒以上押します
- ②授業支援システムの各スイッチを左図のように押します。



**第5情報処理実習室(送信元)で実施する事**

- ①ヘッドセットを38号館インフォメーションから借りてください
- ②ヘッドセットを教員用パソコン末前面にあるオーディオ端子に**マイク端子のみ**接続してください  
※教員機で複数人話す際はインフォメーションでスピーカーフォンを借りる事も可能です
- ③招待メールからV-CUBEにログインします



**第7情報処理実習室(受信側)で実施する事**

- ①招待メールからV-CUBEにログインします
- ※受信側から送信元に映像や音声を中継する際は受信側にもヘッドセットやスピーカーフォンを接続し授業支援システムの設定を送信元と同じようにしてください

#### ■パターン②：V-CUBEを使用して中継をする方法(KUDOS)

例)KUDOS第1リテラシー教室(発信元)と第3リテラシー教室(受信側)で遠隔授業を行う場合



**送受信教室での共通操作：授業支援システム機能で教室スピーカーから音声を出力する設定**

送信元、受信側双方の教室で左図の様に卓上のスイッチを操作します。

- ①授業支援システムのシステム電源を1秒以上押します
- ②授業支援システムの送出選択のスイッチを左図のように押します。



**第1リテラシー教室(送信元)で実施する事**

- ①ヘッドセットをKUDOSインフォメーションから借りてください
- ②ヘッドセットを教員用パソコンにあるオーディオ端子に**マイク端子のみ**接続してください
- ③招待メールからV-CUBEにログインします



**第3リテラシー教室(受信側)で実施する事**

- ①招待メールからV-CUBEにログインします
- ※受信側から送信元に映像や音声を中継する際は受信側にもヘッドセットやスピーカーフォンを接続し授業支援システムの設定を送信元と同じようにしてください